

平成 29 年度 雪嶺会学生生活活動助成における活動報告

雪嶺会の全てのみなさまへ

北海道科学大学 看護学科
HUS Promotion Crew 代表
高橋 大

I.はじめに

この度は、私たち学生団体「HUS Promotion Crew」に助成をしていただき、誠にありがとうございました。メンバー一同本当に感謝しております。この度の学生生活活動助成における1年間の活動を雪嶺会の皆様にご報告いたします。

II.組織概要

私たちの団体「HUS Promotion Crew (Pcrew)」についてご紹介させていただきます。私たちは2016年度秋に本学のオープンキャンパスにおいて活躍した熱意のある学生たちとオープンキャンパスプロデュース担当の藤井 克仁氏、そして入試課の職員の皆さまの協力により設立した団体でございます。本学は「北海道工業大学」から2014年に「北海道科学大学」へと名称変更をしました。ですが、まだまだ「北海道科学大学」という名は札幌や北海道には浸透しておらず、「北海道工業大学」が前身であったという事もあまり認知されていない実情がございました。

私たちが社会に出てまた大学へと帰って来た時、「北海道科学大学」という名が北海道や日本へと広まり本学に関わる誰もが誇りを持てるようにすること、そしてそれと同時に「北海道工業大学」の意志を受け継ぎたいという願いから私たちは生まれました。

学生が主体となって大学の広報活動(Promotion)を展開することで、地域の皆様や大学に興味を持つ未来の北科大生とより親密な信頼関係を構築し、北海道でNo.1の大学にする。さらにそこから本学のスローガンである「+Professional」を体得し社会に、においてより活躍できる人材になることを目指し日々本学の為に活動させていただいております。

III.活動報告

今年度は様々な活動をさせていただきました。ご紹介いたします。

《大学公式 Twitter 運営-約 500 名のフォロワー獲得-》

入試課の職員の皆様と一緒に近年普遍化した SNS「Twitter」の運営をさせていただいております。Twitter にはリツイートという機能があり、個人が投稿した内容をそのまま別の人へ共有する事が出来ます。本学の素晴らしい建築物や自然、そして学生生活をこれにより多くの方へと伝えることが出来たのではないかと考えております。私たちが活動を初

めてから約 500 名ものフォロワー（投稿を見たいユーザー）を獲得いたしました。これは大学公式 Twitter の現在の 1/4 を 1 年で獲得したことになります。さらには「E 棟」や「5 号館食堂 閉店」や「HUS キャンパスイルミネーション」などのツイートを私たちが考え写真を撮影し投稿をいたしました。その結果大学公式 Twitter では初めてとなる 100 リツイート・100 いいね（投稿がお気に入りであるという意思表示）を 3 度も獲得いたしました。これは北海道の大学における SNS では異例の結果であり快挙となりました。この活動は IT ニュース cnet Japan (<https://japan.cnet.com/release/30200149/>) にも掲載され、IT の世界にも北海道科学大学の名前をわずかながらではあるものの広める事が出来ました。平成 30 年度も継続し、本学の SNS における効果的な Promotion を展開していきます。



↑ 実際の 100RT & Like を獲得した投稿内容 (@hus_plus_pro)

《NET OPEN CAMPUS&テレビ告知出演》

本学では 2016 年より大学公式 LIVE 配信「NET OPEN CAMPUS」を放送しております。オープンキャンパスプロデュース担当である藤井 克仁氏により企画制作がされています。その中で私たちは毎度放送後の直近で開催されるオープンキャンパスについて告知を行いました。さらに、TV 告知では「今日ドキッ! (HBC)」「どさんこワイド (STV)」「みんなのテレビ (UHB)」など様々なテレビ局の番組で、オープンキャンパスの告知を他大学と差別化し出来るように、「かがくガオプロジェクト」やオープンキャンパスのポロシャツを着用し、10 回以上出演いたしました。私も「今日ドキッ!」に出演されているグッチーさんにワイプでコメントをいただくことが出来ました。

これらの活動が実ったのか、その年のオープンキャンパスでは何度も過去最高の来場者数を記録する事が出来ました。入試課の菊池 亮介氏からも本活動の内外で多くのアドバイスをいただきました。今後も継続的に出演し活動をしていきます。

本年度もより多面的に出演して行く予定でございますので雪嶺会ならびに校友会の皆様もぜひ「NET OPEN CAMPUS」をご覧ください。



↑「今日ドキッ!」と「NET OPEN CAMPUS」に出演している様子

《新棟取材・新棟タイムラプス撮影-100万インプレッションの獲得-》

本年度（平成 29 年度）から私たちはローリング工事により完成していく新棟を本学の学生が利用をする前に取材を行い、本学や地域の皆様に「Twitter」(@hus_plus_pro) によるレポーターリングを行いました。新棟を先行公開することで、本学は勿論ですが多くの素晴らしい建築物を知ってもらうことも目的であります。

Twitter でのインプレッション（投稿への反応）も 2016 年 3 月が 5 万件でありましたが、我々が取材・投稿を行った 2017 年 3 月は 100 万件インプレッションを獲得いたしました。本学の Twitter を私たち「HUS Promotion Crew」が強く、進化させたことがより顕著にお分かりいただけたと思います。

さらに平成 30 年度からは工学部都市環境学科の細川 和彦准教授のご協力のもと新棟工学部 F 棟をタイムラプス撮影いたします。タイムラプス撮影は毎日決まった時間に写真を 1 枚撮影し長期間継続することで同一対象物の変化を見る事が出来る撮影方法です。4 月の上旬より開始し翌年度までの竣工まで撮影を続けます。この完成した写真は本学の Twitter (@hus_plus_pro) にて報告致します。是非フォローしていただきご覧ください。



↑ E 棟先行取材（2017 年 3 月）とタイムラプスカメラ設置時（2018 年 4 月）の様子

《ユニフォーム作成》

今回の学生活動助成のメインの使用用途でございました、私たちのチームユニフォームを助成金で作成させていただきました。作成にあたって申請の文書に明記しましたとおり本学のエンブレムである「progress”H”」を背面に、スローガンである「+Professional」を、いつでも忘れないように右腕部分にデザインしました。さらに作成にあたって私たち「HUS Promotion Crew」のエンブレムを作成しました。下記に画像を表示いたしますが、Promotion Crewの「P」と「C」を配置しバックには北海道を、さらにWi-Fiシグナルを組み合わせたデザインで構成いたしました。このエンブレムには北海道科学大学を我々「HUS Promotion Crew」が北海道へ広く伝え、本学に必ず貢献するという強い想いが込められています。

ウィンドブレーカー生地で、フードもついており雨天でも活動が可能なものを選びました。このチームユニフォームでOPEN CAMPUSや50周年記念事業等の様々な活動で我々の存在感を出し、はば広い場所で活動が出来るようになりました。

本当にありがとうございました。このウィンドブレーカーデザインは継続し、翌年度からも入るチームメンバーや新入生にも作成したいと今後も考えております。



↑「Pcrew」エンブレムとチームユニフォームを着用し活動をしている様子

《本学 OPEN CAMPUS への参加》

私たち「HUS Promotion Crew」は本学のオープンキャンパスがルーツであり、この活動は欠かせません。

代表である私はオープンキャンパスでは「+Professional Communication Master」という役職についております。これは、オープンキャンパスのスタッフとして、さらには在生としてコミュニケーションスキルや高い能力を持つ人材に対して、入試課から与えられる称号です。私は入学した1年生の夏からこの役職に就き現在の活動もオープンキャンパスが糧となっています。

多くの後輩を入学させた経緯や実績から私のような人材をもっと増やすために「HUS Promotion Crew」として2017年から参加させていただいています。全4回すべての日程に参加し多くの高校生や保護者様とコミュニケーションを取り大学に興味や関心を持って

いただけたのではないかと考えています。

さらには、この後にも記しますが2018年3月のオープンキャンパスではオープンキャンパス連動生放送「はすなま!」を制作し放送を致しました。

今後も全てのオープンキャンパスに組織として参加し未来の北科大生である高校生に他の在学生にはないコミュニケーションスキルで親密性を深めて、入学をしてもらい大学に貢献したいと考えております。



↑本年度卒業したメンバー麻田(看護1期・中央)とトークライブ参加の村田(中央右)

《50周年記念事業 HUS キャンパスイルミネーション&FRIDAY LOUNGE の運営》

2017年12月に手稲区と本学の共同開催により「HUS キャンパスイルミネーション」が開催されました。これに伴い私たち「HUS Promotion Crew」は運営スタッフとして参加させていただきました。業務は様々ありましたが合間に点灯式の綺麗な写真を撮ったりツイート(投稿する事)をしたり、地域の皆様や子ども達の笑顔が見れて本当に嬉しかったです。

事前の「ガラスキャンドルホルダー作り」では制作補助スタッフとして参加させていただきました。地域の小学生と保護者の方々が楽しくにキャンドルホルダーを制作し、普段あまり関わる事のない年齢の人とコミュニケーションを取れる良い機会となりました。

さらには、点灯式の後に毎週金曜日に行われる「HUS FRIDAY LOUNGE」にも運営スタッフとして参加させていただきました。ドリンクスタッフをしつつ来学したアーティストの方や本学のよさこいサークル「相羅」やダンスサークル「Force」の撮影を行いました。大学で行うこういった文化的な催しに触れることで、心も成長できるという事を組織としての活動を通じて改めて学ぶことが出来ました。

翌年度も行いたいと苦米地理事長がおっしゃっていたという事をお聞きしました。私たちが大学を去った後も大学の冬を照らし続ける光であってほしいと私たちは願っています。次回の「HUS キャンパスイルミネーション」にも参加し、効果的なプロモーションを展開する中で地域とのつながりを大切に、大学のお役に立てればと考えています。



↑ 苫米地理事長、かがくガオープロジェクトとの集合写真と FRIDAY LOUNGE の様子

《学生制作 LIVE 配信「はすなま！」-約 3000 名の視聴者に情報発信-》

新たな試みとして現在ライブ配信の方法として世界中で広く使われている Twitter 連携アプリの「Periscope」にて学生が主体となって大学の魅力を伝える「はすなま！」を企画いたしました。すでに、他医療系大学がコミュニティ FM ラジオでコーナーを持っていることから我々は SNS からアプローチをしようと考え企画しました。

今回の放送ではオープンキャンパスプロデューサーの藤井 克仁氏と入試課の藤田 直也氏（機械 41 期）からのアドバイスとご協力を得て制作をいたしました。番組構成としては「HUS CAMPUS LIFE-私たちの等身大-」と題しまして本学 HP やパンフレットに乗っていない情報を多忙な高校生や遠方の為オープンキャンパスに参加する事の出来ない生徒に知ってもらおうという内容であります。私たち「HUS Promotion Crew」以外にも 2018 年 3 月人間社会学科卒業の西田 果歩さん、北海道薬科大学薬学科 2 年の小林 祐太さん、情報工学科 2 年の金沢 和樹さんに出演していただき、広い学部に対応しながら放送をしました。

放送から約 24 時間経過時点で総視聴者数（生放送時視聴者+放送終了後視聴者）2,842 名と、約 3 千人を記録しました。初回放送としては高い視聴者数でした。課題も何点か見つかりましたので改善していきます。次回は他の学部学科で「はすなま！」を放送したいです。

ぜひ雪嶺会ならびに校友会の皆様も Twitter 検索で「#はすなま」と検索し、私たちが制作いたしました、この放送をご覧いただければと思います。



↑ メインパーソナリティーとしてのトークした高橋・村田と放送を監督した黒澤

IV.今後の活動とまとめ

今回の雪嶺会から学生活動助成を受けた1年間の活動の中で、「HUS Promotion Crew」として、北海道科学大学にわずかながらに貢献できたのではないかと考えております。

来年度はさらに「HUS Promotion Crew」を進化させ、より多くの場所に派遣し学生目線での大学広報を推進していきます。現在構想しているものとしては「新棟取材 R3・R4・F棟」取材や先程も述べました「新棟タイムラプス撮影」は勿論、アルキタ学生応援ナビからの取材をお受けする事や、北科大生が中の島キャンパスに行き系列校である北海道科学大学高等学校の生徒とコミュニケーションを持てる場を作る「HUS Meet UP(仮称)」や中の島キャンパス取材、さらには夢プロジェクト「Q-PIT」と協力しVR (Virtual Reality) 上に今後取り壊されていく旧校舎を残すことや何かお別れパーティのようなものを企画したいと考えております。これらを全て行うことで様々な団体がある、北海道工業大学の建物は長い間学生を見守ってきたなど多くの広報材料が生まれ、より本学に興味を持ってもらえます。多くの方のご協力が必要にもなると思いますが、実行していきたいと考えております。

私たちは「局」でも「部活」でもなく「夢プロ」でもありません。このことから、活動に際しましてとても不安を覚えておりました。ですが、雪嶺会の皆様の援助により今年度はとても自由に不安が無く活動をすることが出来ました。本当に感謝しております。

私たち「HUS Promotion Crew (Pcrew)」は学生主体の大学広報の活動がメインではありますが、その他にも様々な活動をしてきており、また計画をしております。この活動が4年後の私達を他の学生よりも、さらに「+Professional」な人材として成長させてくれること、社会において有用な人材になれることを信じています。

これからも我々「HUS Promotion Crew」は全ての諸先輩方の情熱と意志を受け継ぎ、北海道科学大学が北海道 No.1 の実学系総合大学になることを学生の力で推し進めて参ります。諸先輩方が前田キャンパスで過ごした時間と思い出を守りながら邁進してまいりますので、どうか温かく私達にご支援・ご協力いただけると幸いです。

私たち「HUS Promotion Crew」は

これからもずっと

「北海道工業大学」「北海道薬科大学」「北海道自動車短期大学」と共にあります。

以上

本年度 活動内容	大学公式Twitter運営
	新棟取材（E棟）
	OPEN CAMPUSへの組織参加
	NET OPEN CAMPUS出演
	TV告知出演
	ボランティア活動（老人保健福祉施設等）
	ユニフォーム作成
	50周年記念事業「HUS キャンパスイルミネーション」の運営参加
	「HUS FRIDAY LOUNGE」の運営
次年度 活動計画 (今年度活動内容に加えて)	学生制作LIVE配信「はすなま！」の企画・運営
	「新棟タイムラプス撮影」
	「新棟取材R3/R4」
	「HUS Meet UP（仮称）」
	「中の島キャンパス取材」
	「既存棟VR保存」
助成金 使用用途	「2号館ありがとうパーティ」
	ユニフォーム作成助成 ※1（55,000円【22,500円使用】）
	撮影機材 購入（周辺機器等）※2（15,000円）
	動画作成ソフト購入 ※2（12,500円）

※1 半額を使用し、残額はメンバーで負担。

※2 購入予定